

《平成27年度》

(株)エヌ・シー・エス（福岡県北九州市）

【事業名】

北部九州を中心とした古着回収・リサイクル事業

【事業の背景】

北九州市では、平成9年に「エコタウン事業」、平成14年には「エコタウン事業第2期計画」を策定し、新たな戦略の下に事業を進めてきたが、「繊維製品等」のリサイクルについては、当該廃棄物から資源として使えるものを効率的に回収・資源とする手段が確立されておらず、これまでリサイクル対象とはなっていなかった。

(株)エヌ・シー・エスでは、北九州市と連携して平成26年5月から、古着を回収し、各種自動車用内外装材等にリサイクルした製品を九州北部の自動車メーカー等へ安定供給する『地域循環型古着回収・リサイクル事業』を、国内初の共同事業として開始した。

【事業の概要】

本事業では、生産性向上に向けた設備投資（ロータリーカッター設備の導入及び改造）を実施する他、下記②～⑤のような古着回収量を上げるための方策を行う。

- ①古着からリサイクル繊維への「反毛」加工
- ②古着回収・リサイクル事業の普及啓発を踏まえた
北九州市との協議及び回収拠点等の折衝
- ③北九州市並びに周辺自治体及び民間事業者
等との折衝（古着回収に関する事項）
- ④回収拠点への収集事業者等との連携
- ⑤リサイクル繊維販売先である自動車内外装材等製造事業者との連携



図 リサイクル繊維：反毛

本事業の効果・展望としては、次のことが挙げられる。

- ①海外輸出やウェス利用という従来の古着処理と比べ、国内資源循環と資源の高度利用が図れること
- ②反毛化して再生利用するため、破損衣類や多様な素材を活用でき、資源としての利用効率が高いこと
- ③ハイブリッド車・電気自動車用に最適な、故繊維由来の自動車内装材として、安定した需要先が確保されていること
- ④回収からリサイクル製品の供給先までが北九州市近隣地域内で完結し、運搬・処理に伴う低炭素化を実現していること

以上のような、環境産業と自動車産業が集積する北九州市の地域特性に応じた地域循環圏の高度化が図れる事業である。